

(4) 幼稚園の実践例

～生き生きと体を動かす楽しさを味わう～

益城町立第二幼稚園 園児数 男子58人 女子55人 合計113人

○ はじめに

熊本地震の影響により、益城町では慣れ親しんだ遊び場が失われたり、不安な気持ちを抱く子どもの様子も感じられたりなど、安心して伸び伸びと遊んだり過ごしたりできる環境の減少がまだ感じられます。だからこそ、幼稚園という子どもの身近な場所において、安心して思い切り体を動かして遊ぶことで、心と体を解きほぐし、伸び伸び生き生きと過ごす子どもの姿につながっていくと考えます。

① 保護者とのかかわりの中で、一緒に体を動かして楽しむ。

子どもたちが一番安心できる保護者との登園時に、一緒に体を動かす楽しさを味わえるような環境を園庭に作ったり、参観や親の学びプログラムの中で、親子の触れ合い遊びや家庭でも簡単にできるようなゲームを取り入れたりして、家庭への啓発にも努めています。



一緒にケンケンパができる
と楽しいな



おうちの人と一緒に
だともっと楽しいな

② 友だちと一緒に遊ぶ中で、色々な体を動かす遊びを楽しむようにする。

子どもたちのアイデアを聞きながら巧技台を組み立てて一緒に遊び場を作ったり、木にロープを結んでいつでもぶら下がって遊べるようにしたりして、思わずやってみたくなるような環境の工夫をしています。また、体を動かすことに消極的な子どもも、興味を持てるように、ごっこ遊びから戸外遊びへと発展させるなどのかかわりにも努めています。

忍者になったつもりで修行中！



みんなで組み立てて
じゃんけん陣取り



友だちと協力して
遊び場を作ったよ！



○ おわりに

子どもたちの安心できる場所で体を動かして遊ぶことは、心を解放させ、いろいろなことへと興味を広げることにつながっていくと考えます。また、園と家庭とが連携することは、さらに体を動かして楽しむ意欲を高めるのに効果的であると思います。幼児期に体を動かす楽しさを経験することは、心身の発達に大きくかかわるものであり、生涯にわたる運動意欲にもつながっていくと思うので、今後も楽しく体を動かせる環境作りに努めていきたいと思ひます。